

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 178 2007年2月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

青空 寒風の中の百里初午祭今年も盛会・・・



百里平和稲荷初午祭で挨拶する松原日出夫代表理事

07年百里初午祭は 昨夜の嵐とは打って変わった晴天の下 今年も百里基地反対同盟の主催反対連絡協議会(百里弁護団、平和擁護県民会議、平和委員会、農民連、社民党、共産党なども入っている)の協力で開催されました。祭りは最初に 基地周辺の市民生活を騒音で苦しめないでください。 戦争準備、日米軍事一体化のための共同訓練をやらないでください。 憲法九条を踏みじらないでください。という要望書を採択し、5人の代表によって基地司令官を通して防衛大臣宛要望書を提出に向かいました。県平和委員会松原代表理事は挨拶にかえて 愛町同士の中西きよさん(元小川町長)の発案で「農民の神様であるお稲荷さんを祭ろう」ということになったけれど、祭るための土地が見つからなかった。その時20歳くらいだった川井弘喜さんが親と相談して、土地を提供してくれたという百里稲荷建設の経緯を話してくれました。政党からも社民党、共産党、新社会党の代表がそれぞれ決意を述べました。第2部では寒風の中平和の歌声を響かせました。

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

「反戦軍事学」は 新手の改憲論

林信吾という作家・ジャーナリストが朝日新聞の朝日新書から「反戦軍事学」という本を出している。軍事オタクを自称する筆者が第1部入門編で軍隊の組織とか装備を紹介して、軍事オタクとしての知識を披露した上で、自衛隊の装備は高価でしかも貧弱だと批判する。その原因は防衛庁のキャリアが天下りして兵器会社を儲けさせているからだという。一例として62式機関銃は200万円、世界的に評価の高いベルギーFN社製は80万円。90式戦車が8～9億円もするのに、それよりも優秀な米軍のM1A2はもっと安い。ドイツのレオパルト2A5は5億円で買えるという。それは本当かもしれない。

筆者は「戦争はしてはならない」ということを何度も主張している。第3部上級編で「徴兵制は憲法違反なのか」という問題を取り上げている。政府見解では「意に反する奴隷的苦役だから」というが、石破元防衛庁長官は『国防』という本の中で「国を守るという意識を持つことが必要であり、そのために兵役に服することは意に反する奴隷的苦役とは言えない」と書いている。筆者は政府見解のまやかしを指摘しながら、石破氏の「国民は国を守るために戦うべきだ」という論立てに反対の立場を取ります。

兵藤二十八の「ニッポン核武装再論」について核抑止論のばからしさと、上坂冬子の靖国論、小林よしのり氏の漫画や著作が若者に悪影響を与えているらしいことなども取り上げて批判している。これらはもっともだと同意を与えておきましょう。

問題にしなければならないのは第四部応用編です。

安倍氏の「美しい国へ」(文春新書)の中から「東京湾に、大量破壊兵器を積んだテロリストの工作船がやってきても、向こうから何らかの攻撃がないかぎり、こちらから武力を行使して、相手を排除することはできないのだ。わが国の安全保障と憲法の乖離を解釈でしのぐのは、もはや限界・・・」というくだりを、小林よしのり氏の「いわゆるA級戦犯」と同列のたわごとと批判した後で、筆者自身の改憲論を披瀝します。

自衛権は自衛権として認めたくて「侵略戦争はしない。海外派兵は行なわない」という文言を明記し、自衛隊の活動範囲に縛りをかけたほうがよい。さらに言えば、核兵器を「作らず、持たず、持ち込ませず」という非核3原則を憲法の条文に採り入れるのがよい。21世紀の軍隊は「重武装した警察」の方向を目指すべきであり、自衛隊にはその先駆けとなれる可能性があるという。

第1部の最後に「テロリスト集団は国家ではないから、テロとの戦いは国際紛争ではない、といわれれば反論は難しい・・・自衛のためと称して、海外のテロリストの根拠地を叩きに行くことも考えられる」という伏線を敷いている。第1部から第3部まではまあまあ納得できる内容で抱え込んでおいて、最後に改憲論を持ち出しているように思われる。

この考え方が今の日本で実現するであろうか。アメリカの要求の下で、防衛省の独走を抑えることさえ懸念される状況がある中で、改憲論を言うことは大きな危険を感じるどころです。

井上記

活動ごよみ

2・6 平和の会理事会(神立コミセン)
2・11 百里平和稲荷初午祭り
(百里平和公園 12:00)

3・1～2 ビキニデー(静岡県焼津)
3・17 平和の会理事会(保健生協事務所)
4・28 平和委員会県大会(水戸市民会館)